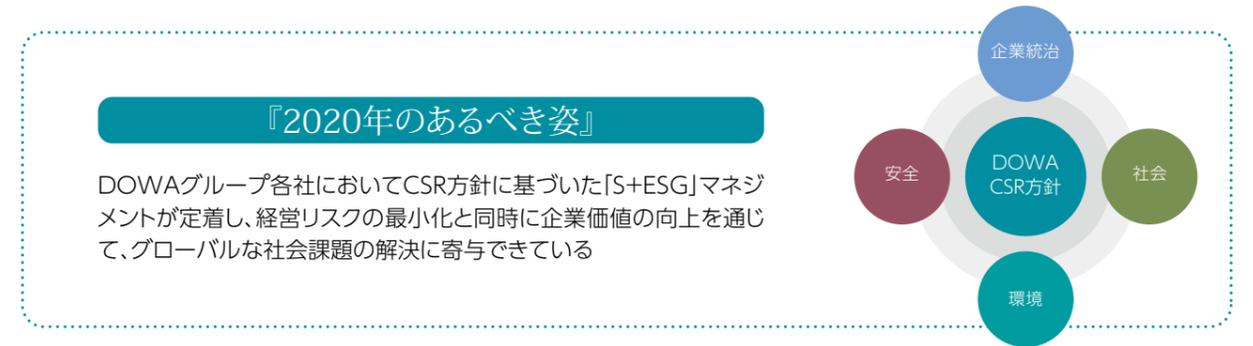


CSR方針と計画

DOWAグループは、中期経営計画の初年度である2015年4月より、2020年度をターゲットとするCSR計画に基づく取り組みを開始しました。

■ CSR計画と目標の考え方

CSR方針における企業統治、安全、環境、社会、4つの重点分野において、『2020年のあるべき姿』を中期目標として定め、あるべき姿を達成するために優先的に取り組むべき課題を重点施策として、その実現へ向けての活動計画を単年度の取り組みおよび目標として掲げています。2015年度の分野別実績と取り組みの詳細については、次ページからの分野別報告をご覧ください。



分野	CSR方針	中期目標 『2020年のあるべき姿』	重点施策	指標	2020年度 目標	2016年度活動計画	
						取り組み	目標
企業統治 Governance	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた会社、透明感のある会社を目指す 国際的な取り組みに配慮し、贈収賄などの腐敗防止に努める CSRに配慮した調達を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制システムの十分な機能、適切な情報開示と透明性の確保により健全な企業経営を推進している 従業員一人ひとりが「DOWAグループの価値観と行動規範」に基づき的確に行動することで、いかなる不正・腐敗も生み出さない企業経営を推進している お取引先とパートナーシップを構築し、サプライチェーン全体でCSRを推進している 	内部統制、ガバナンスの強化	開示すべき重要な不備件数	0件	内部統制ハンドブックの展開	経営幹部層・担当者への説明会参加者数140人以上 翻訳版の配布
			コンプライアンス、リスクマネジメントの強化	社内教育・説明会実施率	100%	国内外各社の内部統制活動の支援	国内外10社
			CSR調達推進	サプライヤー調査カバー率 ※工事業者は除く	取引金額ベース 80%	サプライヤーCSR監査 CSR監査手順書の作成	6社以上 同左
安全 Safety	<ul style="list-style-type: none"> 「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す 労働災害を防止し、従業員の健康づくりを支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 職場の労働安全リスクが適切に管理・最小化され、快適かつ安全な職場環境が実現している 	全社安全レベルの底上げ	度数率 強度率	0.1以下 0.01以下	地区単位横断での取り組みの強化	度数率0.9以下 強度率0.02以下
			海外子会社安全教育の強化	教育実施回数 教育実施人数	累計20回 累計200人	来日教育、出前教育の対象国増	4ヶ国以上
			リサイクル事業の強化:集荷量・再資源化量・元素数増等	リサイクル原料集荷量	対前年度増	リサイクル原料の海外集荷強化	対前年度増
環境 Environment	<ul style="list-style-type: none"> お客様(顧客、地域など)に対し循環型社会の構築に寄与する製品・サービスを提供する 事業活動における環境負荷、環境リスクを低減する 経営陣から従業員にいたるまで、一体となって環境保全活動に取り組む 生物多様性に配慮した事業活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> アジア・環太平洋エリアにおける国際資源循環ネットワークの要を担っている 省エネルギー諸施策や再生可能エネルギーの積極活用でCO₂原単位の効果的削減が実現している 職場の環境リスクが適切に管理され、環境事故発生リスクが最小化されている サプライチェーンの上下流と連携して生物多様性保全活動を推進している 	再生可能エネルギーの活用率向上 省エネルギー取り組みの強化	CO ₂ 原単位排出量	1990年度比 15%削減	大規模排出事業所における省エネ型設備更新の推進	温室効果ガス総排出量 対前年度比1%削減
			環境事故リスク最小化、対応力強化 ※環境事故:社外に影響が及び、所管行政に報告した事案	環境事故発生数	0件	環境管理体制の相互巡視	5地区以上
			ダイバーシティの推進	女性活躍推進教育受講率	100%	キャリア採用の積極展開 女性社員や管理職対象の研修の実施	2.0% 各1回
			ワーク・ライフ・バランスの推進	年次有給休暇取得率	70%	諸制度の社内周知の徹底 年休消化の奨励 労働時間管理・低減策の推進	同左 60% 同左
社会 Society	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の多様性と人権を尊重し、一人ひとりがやりがいと誇りを持って、最大の能力発揮ができる職場づくりを目指す 公正な評価・処遇と育成する文化が定着し、従業員が成長・成果・やりがいを実感し、互いに競い合い、支え合う組織を、従業員自らの手で創り出している 地域特性に応じた社会貢献を地元と一体となって推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材がお互いに尊重し合いながら、それぞれのライフステージやスタイルに見合った多様な働き方を、従業員自らが選択し、会社やチームが支え合っている 各地域と一体となった社会貢献を国内外で展開している 	考課者、被考課者双方の育成 社内人材教育の強化 従業員の自発的なキャリア開発の支援	従業員満足度 —業務計画制度 —教育体系・内容	90% 70%	考課者・被考課者トレーニングの実施 制度サーベイの実施 社内教育対象層の拡充教育 階層別教育の研修体系の策定	考課者・被考課者 訓練参加者数 600名
			社会貢献の推進	—	—	先進事例の社内周知 事業所の取り組みの支援	ポータルサイト による情報共有